

証券コード 6246

第92期 報 告 書

2025年4月1日から2026年3月31日まで

Techno Smart

Changing Life with Coating Technology

Technical Synergy Center

CONTENTS

Top Message	1	トピックス	7
財務ハイライト	2	業績の概況	8
事業の概況	3	株式の状況	9
事業紹介	5	会社概要	10

株式会社 テクノスマート

株主の皆様へ

Changing Life with Coating Technology

「塗工技術で生活に変化を」

私たち『株式会社テクノスマート』は、「塗工」・「乾燥」で世界の人々に貢献できる企業を目指します。

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社第92期（2025年4月1日から2026年3月31日まで）の事業の概況につきまして、ご報告申し上げます。

当事業年度における経済環境は、海外ではロシアによるウクライナ侵攻の長期化や中東情勢の緊迫化など地政学リスクの高まりに加え、各国の通商政策の影響により、先行き不透明な状況が続きました。わが国経済においては、為替変動等の不透明感が残るものの、景気は停滞局面を脱し、緩やかな持ち直しの動きが見られました。

一方で、物価上昇の影響が継続する中、賃金は上昇傾向にあるものの実質賃金はマイナスで推移しており、個人消費を取り巻く環境は依然慎重な状況にあります。当社の販売先である電気自動車（EV）市場では需要拡大の鈍化が続いております。欧州における環境規制動向や製造設備投資は一部で見られるものの、市場全体の本格回復にはなお時間を要する見込みです。車載用全固体電池についても将来的な商業化が期待される一方、EV市場の成長鈍化の影響から先行き不透明な状況が続いております。

こうした中、中東情勢の緊迫化を背景に一部原材料で値上げ要請や出荷調整、受注停止の動きが見られました。現時点で当社製品の納期への直接的な影響はないものの、代替品の調査や情報収集を行い工程管理の安定維持に努めております。

当社は外部環境の変化を踏まえ、ディスプレイ部品関連機器や機能性フィルム関連塗工機器の受注拡大に取り組むとともに、成長分野での営業活動を強化し安定的な受注確保に努めてまいります。

当期の売上高は20,737百万円（前期比3.9%減）、営業利益2,971百万円（同15.4%減）、経常利益2,968百万円（同16.5%減）、当期純利益1,791百万円（同25.1%減）となり



代表取締役社長

飯田 陽弘

ました。受注高は20,156百万円（同43.8%増）、うち輸出受注高11,371百万円（同56.5%増）、受注残高は23,703百万円（同2.4%減）、うち輸出受注残高13,589百万円（同0.8%増）となりました。

EV市場の需要鈍化を背景に、当社の顧客においても設備投資の延期や計画の見直しが見られました。車載用リチウムイオン電池関連では商談中の案件は存在するものの発注時期は不透明であり、短期的な回復基調には至っておりません。また、データセンター用など蓄電用途向けの引き合いも一部で見られるものの、大型案件には至っていない状況です。

一方、ディスプレイ部品関連機器については、引き続き国内外で一定の需要が見込まれ、機能性フィルム関連塗工機器につきましても底堅く推移する見通しです。今後は市場動向を注視しつつ、新エネルギー分野を含め幅広い塗工乾燥装置の受注積み上げに注力してまいります。

案件によっては条件面が厳しくなるなど、価格競争の激化により原価低減の重要性が高まるとともに、顧客の希望納期への対応も求められております。半導体供給問題に端を発した電装機器の長納期化は概ね改善されたこともあり、納期検討においては顧客希望納期を十分に認識し、業務の効率化と原価低減、生産量確保に努めてまいります。

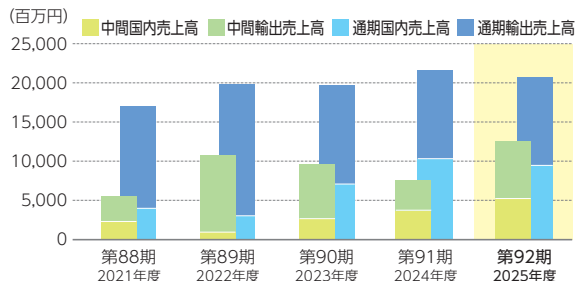
このような状況のもと、光学フィルムや機能性フィルム関連設備に加え、今後の成長が期待される半導体及び電子部品関連分野に対する販売強化を進めるとともに、顧客と連携した製品開発への取り組みを通じて、新素材や新技術に関する情報収集を行い、営業展開の幅を広げてまいります。

2026年6月

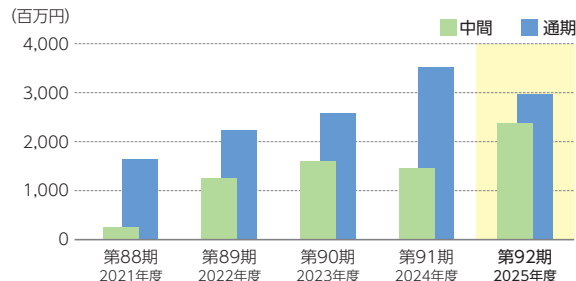
5年間の推移

売上高は過去2位、利益も高水準を維持

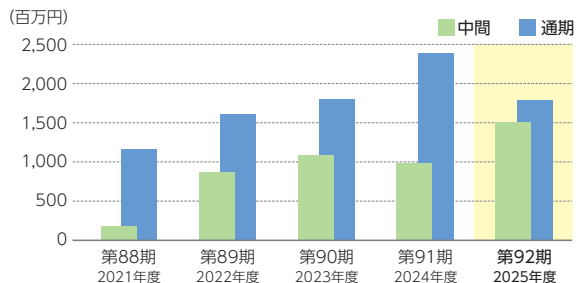
国内売上高・輸出売上高



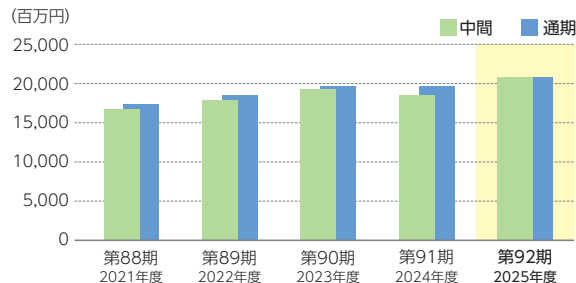
営業利益



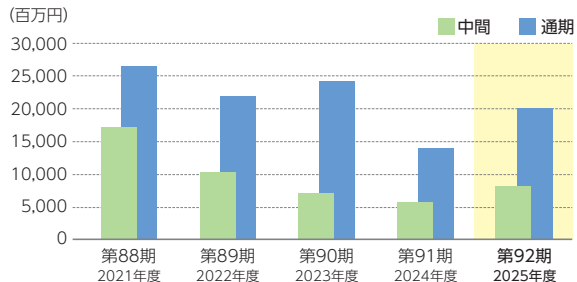
当期純利益



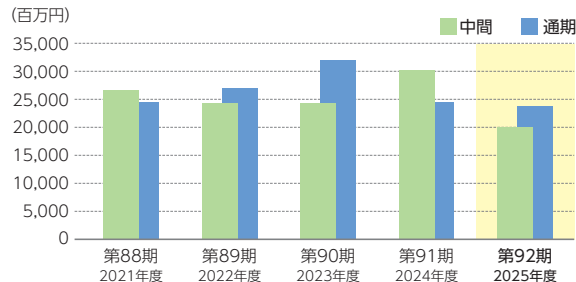
純資産額



受注高



受注残高



2027年3月期 業績予想

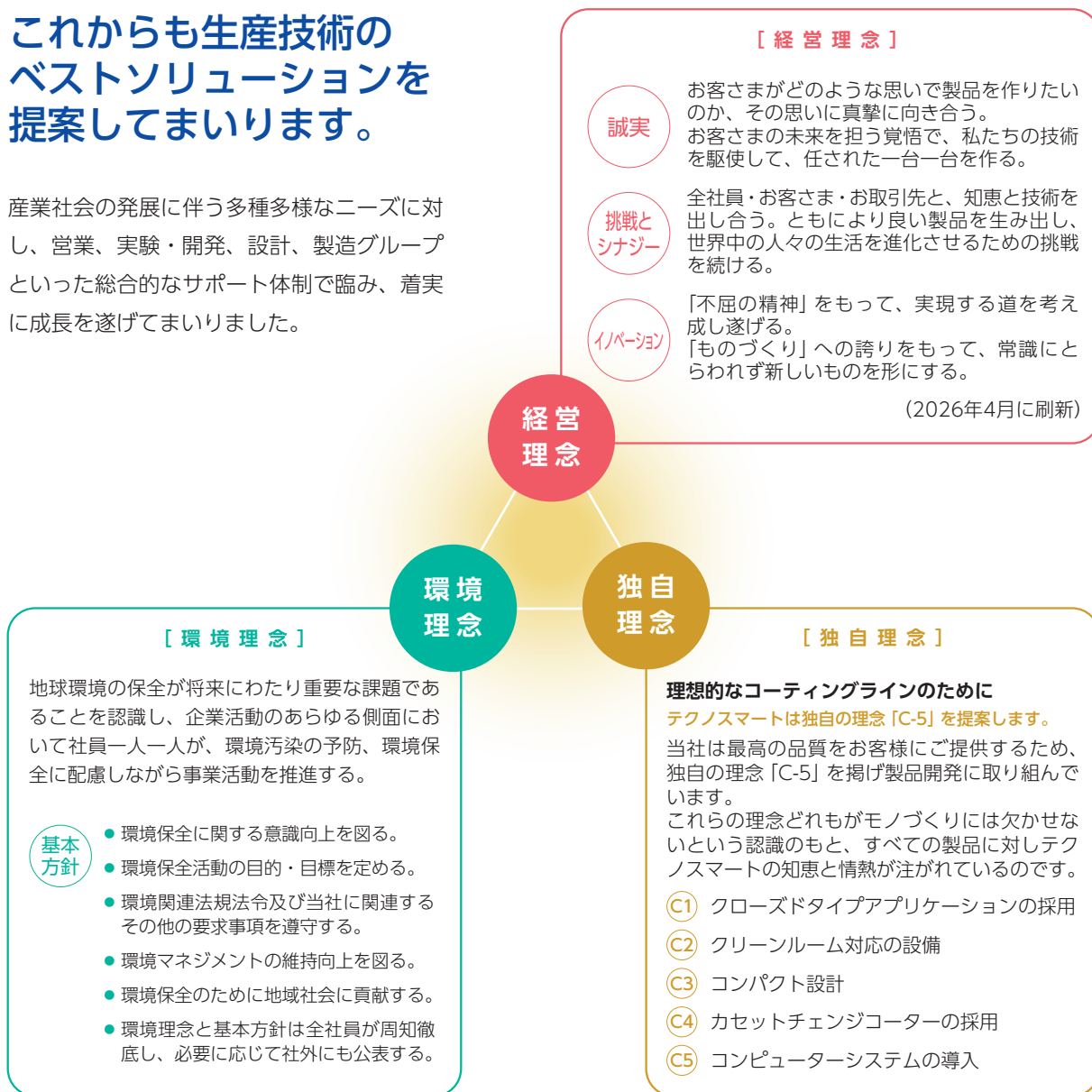
売上高 19,000 百万円

営業利益 2,000 百万円

当期純利益 1,400 百万円

これからも生産技術の ベストソリューションを 提案してまいります。

産業社会の発展に伴う多種多様なニーズに対し、営業、実験・開発、設計、製造グループといった総合的なサポート体制で臨み、着実に成長を遂げてまいりました。



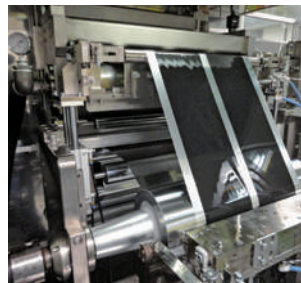
ディスプレイ関連塗工機器



液晶用表示装置に代表される光学用途フィルム塗工装置及び関連する乾燥・熱処理装置。

売上高比率
48.6%

エネルギー関連塗工機器



二次電池用塗工装置及び関連する乾燥・熱処理装置。塗工機以外の二次電池用製造装置及び関連機器。

売上高比率
19.1%

機能性フィルム関連塗工機器



一般産業資材用のフィルム用塗工装置及び関連する乾燥熱処理装置。

売上高比率
26.8%

化工機器



高機能性繊維・不織布関連の製造装置及び乾燥・熱処理装置並びに関連する付属機器。ポリマー樹脂等化工品の乾燥・熱処理装置。各種エンブラフィルム用製膜関連製造装置。

売上高比率
0.0%

電子部品関連塗工機器



半導体、FPC等電子部品関連用塗工装置及び関連する乾燥・熱処理装置。

売上高比率
1.3%

その他



各種関連機器の部品製造並びに改造・修理。

売上高比率
4.2%

「Techno Smart Series」のご紹介

塗工・乾燥装置を標準化することで、製品開発から量産までの期間短縮ができるようになりました。

塗工乾燥装置の標準化「Techno Smart Series」

高精度コーター



高精度モーター、特殊カップリング高精度軸受の採用。

VCDコーター



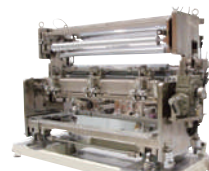
低速～高速まで幅広い塗工速度範囲に適用。

CEDコーター



高品位塗工に対応クローズドコーティングシステム。

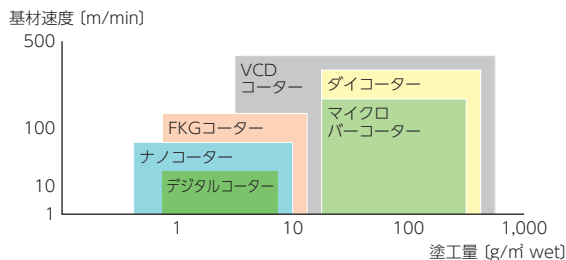
FKGコーター



版目の転写がない。ロール、ドクターブレード交換が容易。



カセットチェンジ方式で容易に塗工方式の変更が可能



ナノコーター



優れた薄膜塗工性能。スジムラがない。容易なロッド交換方式。

多層ダイコーター



多段化したスロットル構造により単層～多層の同時塗工を実現。

デジタルコーター



WET10 μ m以下の薄膜塗工。複雑な任意パターン塗工。

スマートラボ



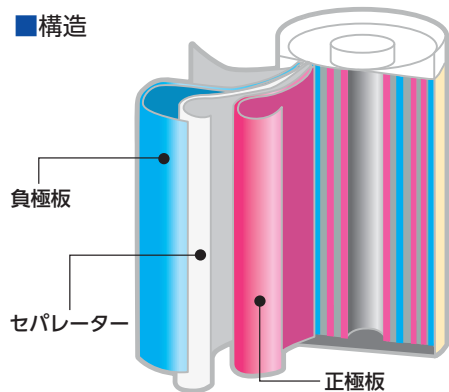
研究、試作用途に対応した設置場所を選ばないコンパクト設計。

二次電池のご紹介

リチウムイオン二次電池の製造には、当社の装置が使用されています。

- 【用途例】・スマートフォン、タブレット端末
・ノートパソコン、デジタルカメラ
・電気自動車、ハイブリッドカー 等

構造



【二次電池 使用箇所】・正極板・負極板・セパレーター

主な分類

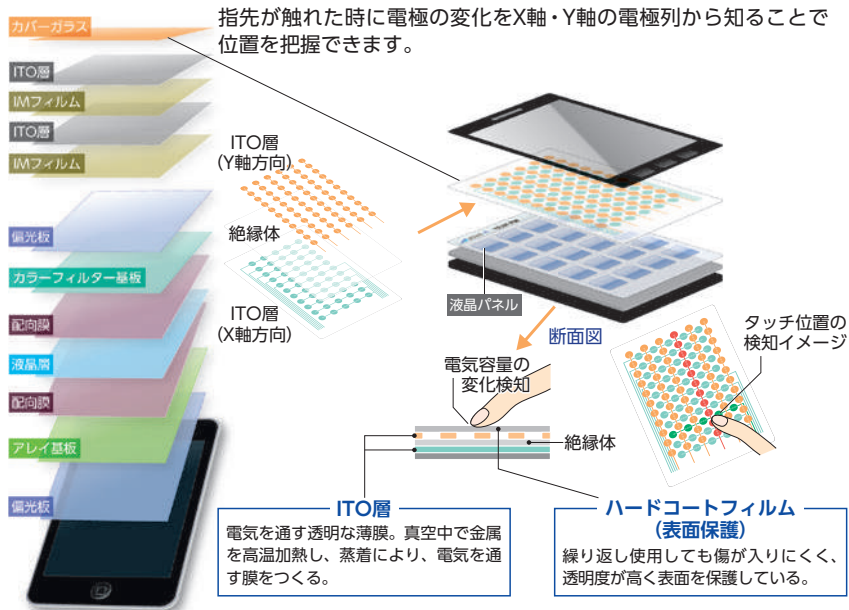
	ニッケル水素電池	リチウムイオン電池
自然放電	少ない	非常に少ない
エネルギー密度	高い	非常に高い
コスト	安い	高い
主な用途	ハイブリッドカー 電動工具	ハイブリッドカー 電気自動車 パソコン・スマートフォン

二次電池は、充電式電池ともいい、電気を蓄えて繰り返し使用することができます。

円筒型の二次電池を一例としてご紹介していますが、使用用途に応じて角形、ラミネート型の二次電池もあります。

タッチパネルのご紹介

ハードコートフィルムの製造には、当社の装置が使用されています。



タブレット端末



- ▼使用箇所
- ハードコートフィルム
 - 偏光フィルム
 - 反射防止フィルム

スマートフォン



- ▼使用箇所
- ハードコートフィルム
 - 偏光フィルム
 - 反射防止フィルム
 - フレキシブルプリント基板

偏光板・ITO層ハードコートフィルム・IM (インデックスマッチング) フィルムの製造には、当社の装置が使用されています。

- 偏光板 (偏光フィルム)
特定の振動方向の光だけを通過させ、他の光を遮断させる。
- ITO層ハードコートフィルム
タッチパネル操作には欠かせないフィルムで、透明で電気を通す性能を持つフィルムです。
- IMフィルム
ITOパターンの視認性を低減する機能を持ち、タッチパネル画面を見やすくする機能があります。反射防止機能を持つものもあります。

経営理念刷新

この度、2026年4月1日付で経営理念を刷新いたしました。（3ページに掲載）

これからの事業環境の変化と、当社が果たすべき役割を改めて見つめ直し、技術を通じた価値提供の考え方をより明確にしております。

滋賀県防火保安協会連合会長表彰



当社滋賀事業所（滋賀県野洲市）は、滋賀県防火保安協会連合会長より表彰を受けました。

地道に取り組んできた防火・防災活動等が当連合会から高く評価されたことは、誠に名誉なことであります。本受賞を励みとし、今後も更なる防火・防災体制の強化に鋭意努めてまいります。

第16回高機能フィルム展 – FILMTECH JAPAN – 出展

2025年11月12日～14日の3日間、幕張メッセで開催された第16回高機能フィルム展 – FILMTECH JAPAN – に出展いたしました。

期間中は多数の方が当社ブースを訪問され、有意義な情報発信と顧客ニーズの収集ができました。



業績の概況

■貸借対照表 (2026年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資産の部		負債の部	
流動資産	22,313,107	流動負債	6,882,335
現金及び預金	10,410,971	買掛金	1,284,931
受取手形、売掛金 及び契約資産	11,908,322	電子記録債務	840,116
電子記録債権	390,949	短期借入金	999,998
棚卸資産	494,775	未払法人税等	717,551
その他	134,088	前受金	2,312,202
貸倒引当金	△ 1,026,000	引当金	328,475
		その他	399,060
固定資産	8,194,527	固定負債	2,855,028
有形固定資産	5,175,919	長期借入金	1,166,670
建物	2,343,043	引当金	1,150,658
機械及び装置	617,605	資産除去債務	3,856
土地	1,891,792	その他	533,843
その他	323,478	負債合計	9,737,363
無形固定資産	20,839	純資産の部	
投資その他の資産	2,997,768	株主資本	18,390,271
投資有価証券	2,843,039	資本金	1,953,930
その他	154,729	資本剰余金	1,707,198
		利益剰余金	16,297,781
		自己株式	△ 1,568,638
		評価・換算差額等	2,379,999
		その他有価証券評価差額金	1,293,573
		繰延ヘッジ損益	3,384
		土地再評価差額金	1,083,042
		純資産合計	20,770,271
資産合計	30,507,635	負債・純資産合計	30,507,635

■損益計算書 (2025年4月1日から2026年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目	金 額	構成比 (%)	金 額	構成比 (%)
	前 期		当 期	
売 上 高	21,578,662	100.0	20,737,290	100.0
売 上 原 価	16,762,407	77.7	15,678,599	75.6
売 上 総 利 益	4,816,255	22.3	5,058,691	24.4
販売費及び一般管理費	1,303,766	6.0	2,087,530	10.1
営 業 利 益	3,512,488	16.3	2,971,160	14.3
営 業 外 収 益	65,500	0.3	69,750	0.3
営 業 外 費 用	22,366	0.1	72,436	0.3
経 常 利 益	3,555,622	16.5	2,968,475	14.3
特 別 利 益	307	0.0	57,815	0.3
特 別 損 失	440	0.0	704	0.0
税引前当期純利益	3,555,489	16.5	3,025,586	14.6
法 人 税 等	1,164,601	5.4	1,233,893	6.0
当 期 純 利 益	2,390,888	11.1	1,791,692	8.6

■キャッシュ・フロー計算書

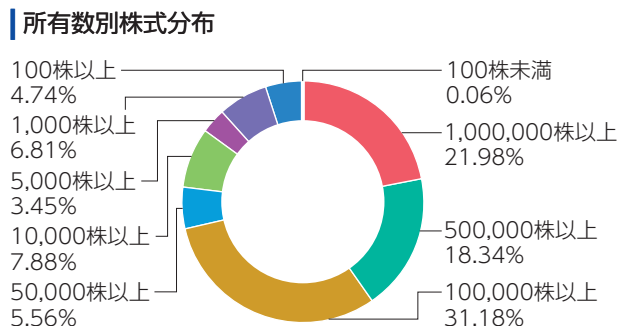
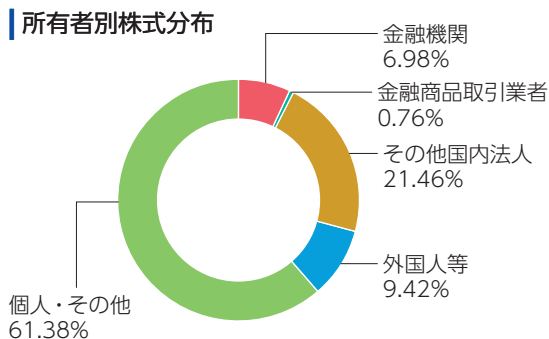
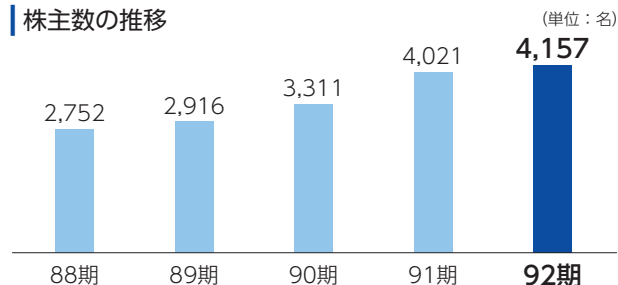
(2025年4月1日から2026年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目	金 額	金 額
	前 期	当 期
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,532,659	5,074,466
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 815,864	△ 659,692
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 366,848	△ 900,228
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	355
現金及び現金同等物の増減額	△ 2,715,372	3,514,901
現金及び現金同等物の期首残高	9,611,442	6,896,070
現金及び現金同等物の期末残高	6,896,070	10,410,971

株式の状況 (2026年3月31日現在)

発行可能株式総数	25,000,000株
発行済株式の総数	12,401,720株
株主数	4,157名



当社株価と出来高



株主・投資家情報サイト

<https://www.technosmart.co.jp/ir/>

■ トップページ



click



当社ホームページではIR情報、製品情報など最新の情報がご覧いただけます。どうぞご利用ください。

社 名 株式会社テクノスマート
創 業 1912年6月15日
資 本 金 19億5,393万円
本社所在地 〒541-0056
大阪市中央区久太郎町二丁目5番28号 久太郎町恒和ビル2階
電 話 06-6253-7200 (代)
従 業 員 数 255名
上 場 取 引 所 東京証券取引所 スタンダード市場
証 券 コー ド 6246
事 業 所 滋賀事業所〔滋賀県野洲市〕 東京支店〔東京都中央区〕



役員 (2026年6月25日現在)

代表取締役社長	飯 田 陽 弘
常務取締役	西 宮 良 材
取締役	下 村 壽 一
取締役	高 橋 要
取締役	三 沢 浩 司
取締役* 監査等委員	青 木 透
取締役* 監査等委員	岡 健 治
取締役* 監査等委員	平 松 亜 矢 子

※は社外取締役であります。

株主メモ

事 業 年 度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定 時 株 主 総 会 6月
基 準 日 定時株主総会の議決権 3月31日
期 末 配 当 3月31日
中 間 配 当 9月30日
*その他必要がある場合は、あらかじめ公告する一定の日
単 元 株 式 数 100株
公 告 方 法 電子公告により行う
公告掲載アドレス: <https://www.technosmart.co.jp/>
(ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。)
株 主 名 簿 管 理 人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
〔郵便物送付先/各種お問合せ先〕 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話 0120-094-777 (通話料無料)
〔受付時間 9:00~17:00 (土、日、祝祭日、年末年始を除く)〕
ホームページ <https://www.tr.mufj.jp/daikou/>

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

Techno Smart

Changing Life with Coating Technology



ユニバーサルデザイン(UD)の考え方に
基づき、より多くの人に見やすく読みまちが
えにくいデザインの文字を採用しています。

